



ナースキャップの重みと責任を感じて

～姫路赤十字看護専門学校で戴帽式～

10月30日、姫路赤十字看護専門学校で戴帽式が行われ、1年生46人が真新しいナースキャップを戴きました。

看護師の象徴、そして看護師を目指す者にとって憧れでもあるナースキャップ。作業のしにくさや衛生面の問題から着用を廃止している医療機関が多くなり、それに伴い戴帽式を行わない学校も増えているとか。

戴帽式には、人の命を預かる大変な仕事をしていくにあたり、重大な責任感を自覚させるという深い意味があります。式は厳かに行われ、ろうそくの明かりの中、初めて被るキャップの重みをかみ締めながら看護の道にさらに1歩足を踏み入れた学生たち。目標に向けて大きな動機付けとなったようです。



ナースキャップと一緒に贈られた生花を使ったコサージュは、姫路赤十字病院の看護部による手作り、そして戴帽式後には2・3年生がお祝いの言葉や歌などを送り、先輩たちの優しく温かい思いに包まれた式となりました。



兵庫県看護功績賞を受賞

～多可赤十字老人保健施設 畑中介護サービス課長～

県の看護の世界で顕著な実績を挙げた看護師や助産師などを表彰する「兵庫県看護大会」が7月9日に行われ、多可赤十字老人保健施設の畑中法子介護サービス課長が兵庫県看護功績賞を受賞。畑中課長の喜びの声を紹介します。



井戸知事から贈られた賞状とメダルを受け取る畑中課長

私は、昭和56年に中町赤十字病院(現多可赤十字病院)に就職し、急性期病棟で臨床を経験しました。平成とともに、老人保健施設や在宅介護支援センター、訪問看護ステーションなど、在宅に近いところで看護することが多くなりました。

平成8年から、兵庫県看護協会の地域看護活性化の活動に参加し、院外の多くの看護の仲間に出会い看護を深めることができました。このたびの受賞は、私にとって思いがけないことですが、老人保健施設の看護師として受賞できたことは、施設で勤務する後輩にとっても励みになることと思います。これまで共に看護してきた仲間を支えられ、赤十字で育てていただいたことを感謝します。

講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで

078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習(1日受講)	1/16(土) 13:00~17:30
救急法救急員養成講習(2日間受講)	2/27(土)・28(日) 9:30~17:30
救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)	1/9(土)・10(日)・11(月祝) 2/6(土)・7(日)・11(月祝) 9:30~17:30(初日は13:00~)
健康生活支援講習(3日間受講)	2/13(土)・14(日)・20(金) 10:00~15:30(最終日は16:00まで)

科目別講習	講習の一部のテーマを短時間で習得できます。
幼児安全法講習	乳幼児の災害時支援 1/30(土) 10:00~12:00
健康生活支援講習	災害時高齢者生活支援講習(災害が起こった時、支援できること) 1/31(日) 10:00~12:00
幼児安全法講習	子どもの病気と看病のしかた 2/21(日) 10:00~12:00
幼児安全法講習	乳幼児の一次救命処置(PBLS) 2/21(日) 13:00~15:00
健康生活支援講習	高齢者に起こりやすい事故の予防と手当、急病への対応 2/26(金) 10:00~12:00
健康生活支援講習	リラクゼーション・癒しのハンドケア 2/26(金) 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

ひょうごの赤十字

2015 December 12月

各種災害に対応するために

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 兵庫県支部

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 兵庫県支部

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 兵庫県支部

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 兵庫県支部

- 被災地の中での青少年赤十字活動
- 赤十字防災ボランティア総合訓練を開催
- イベントで赤十字をPR
- ナースキャップの重みと責任を感じて
- 兵庫県看護功績賞を受賞
- 講習のご案内
- 「NHK海外たすけあい」がはじまりました



日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 兵庫県支部

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号

078-241-9889

赤十字 兵庫

検索



各種災害に対応するために

～県内の災害訓練に参加～

さまざまな形で起こりうる災害に対して、迅速かつ的確に対応するため、兵庫県支部では、災害救護訓練の実施や地方公共団体などが行う防災訓練などに積極的に参加し、関係機関との連携を図っています。



◆平成27年度南あわじ市総合防災訓練

11月1日、三原健康広場にて、南海トラフ地震を想定した南あわじ市主催の総合防災訓練が行われ、兵庫県支部と神戸・柏原赤十字病院の救護班が参加。
家屋の倒壊などによる傷病者が次々と運び込まれる救護所で、南あわじ市医師会と連携しながら2次トリアージや応急処置などに取り組みました。
訓練終了後には、参加していた地元看護学校生に正しい知識と技術を身につけていただくため、三角巾を使ったきずの手当てなどの救急法講習も行いました。

◆平成27年度姫路駅周辺・都市型災害対応訓練

11月10日、世界文化遺産「姫路城」の大修理を終え多数の観光客が訪れる姫路駅周辺において、地震により同時に多発する大規模な被害を想定した都市型災害対応訓練が行われ、兵庫県支部と姫路赤十字病院が参加。
姫路赤十字病院で災害拠点病院として病院機能も維持しつつ、市内最大の傷病者が発生した駅周辺に救護班を派遣し、マンパワーや医療資源が不足する中、一人でも多くの命を救うためには、持てる力をどのように活用すればいいのか、救護員一人ひとりが考えながら行動する訓練となりました。
訓練に参加した関係機関は23にもものぼるなど、関心の高さがうかがえる訓練でした。



◆平成27年度兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練

11月11日、高砂市の新日本油化株式会社にて、地震の影響で作業中の配管に亀裂が入りA重油が大量に海上へ流出、工事中の作業員が多数負傷、また着岸中の船舶から火災が発生したとの想定で訓練が行われ、兵庫県支部と姫路赤十字病院の救護班が参加。
赤エリア(生命に関わる重篤な状態で一刻も早く処置すべきもの)と黄エリア(赤ほどでもないが早期に処置をすべきもの)で、近隣医療センターのDMAT(災害時派遣医療チーム)とも連携しながら、常に声を掛け合い応急処置などに取り組みました。



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



被災地の中での 青少年赤十字活動

～丹波市で中・高校生たちが減災や復興支援について考える～

「避難場所や危険個所を知っておくため地域でスタンプラリーや情報交換会をしては?」「日頃から山の様子をもっと知っておくべき」。
これは、11月8日に丹波市市島町において、兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会の平成27年度例会(2学期)が行われ、メンバー(生徒)と指導者(教諭)63人が参加し取り組んだ活動です。
市島町は、昨年8月の豪雨で土砂崩れが発生し、多くの家屋が土砂や浸水被害にあいました。
被災地を訪れたメンバーは、間近で見る被害の爪痕に言葉を失っていました。
また、地元の方々から「被害を最小限に食い止めた住民の行動」、「避難時における住民の誘導、判断について」と題した講演をお聞きし、改めて災害の恐ろしさ、助けあいの大切さや避難の難しさなどを考える機会をいただきました。
講演後のワークショップでは、被災地での一日体験を通し、自分たちにもできる減災や支援などについて、積極的な意見交換や提案があり、被災地を肌で感じながらの意義深い体験となりました。
最後に、ご協力いただきました皆さまにはお世話になりました。



土砂崩れの現場を
間近で見るメンバーたち

参加校(順不同)

・西脇市立黒田庄中学校 ・甲南女子高等学校 ・神戸第一高等学校 ・県立舞子高等学校 ・県立芦屋国際中等教育学校
・県立国際高等学校 ・県立加古川東高等学校 ・県立龍野北高等学校 ・県立柏原高等学校 ・県立上郡高等学校



赤十字防災ボランティア 総合訓練を開催

～いち早く活動できるように～

いち早く被災地で活動できるよう、赤十字防災ボランティアの皆さんが、10月25日、兵庫県支部となごさ公園を会場に総合訓練を行いました。
訓練には、神河町赤十字奉仕団、特別赤十字奉仕団および個人登録の防災ボランティアなど29人が参加。防災ボランティアリーダー、サブリーダーが、けがをしないように注意を促しながら指導にあたり、ボランティアセンターの運営やテント設営、簡易ベッドの組み立て、炊き出し、トランシーバーを使った無線通信など、ボランティアセンターの円滑な運営や資機材の取り扱いを学んでいただきました。
また、サブリーダーが持参した防災グッズの紹介もあり、災害時の備えについても理解を深めていただきました。



簡易ベッドを組み立て中



イベントで赤十字をPR

兵庫県支部では、若年層広報の一環として県内で開催されるイベントへ積極的に参加しています。
10月17～18日は、東条湖おもちゃ王国で開催の「はたらくるま大集合!」に参加し、救急車の乗車体験やキッズ救護服&ナース服で記念撮影などでPR。普段乗車することができない救急車に触れたり、救護服やナース服に身を包んだ子どもたちの笑顔に大人も大喜びでした。
11月14～15日は、淡路ワールドパークONOKOROで開催の「ふれあいの祭典」に参加し、キッズ救護服&ナース服姿の自分の写真で缶バッジ作成や、赤十字マークパズルやハートラちゃん福笑いなどのゲームでPR。中でも缶バッジ作成は大変好評で、子どもたちは自分の写真が缶バッジになることに大喜びでした。
イベントを通じ、子どもたちだけではなく大人の皆さんにも、楽しみながら赤十字活動を身近に感じていただくことができました。





「NHK海外たすけあい」がはじまりました

～人間を救うのは、人間だ！ たすけたいという思いをひとつに～

そして今日も
寒くて怖い
夜が来る。



紛争に苦しむ命へ。災害に苦しむ命へ。病気に苦しむ命へ。

氷点下の環境で避難生活を続ける子ども（シリア） photo:Reuters/Aflo

期間 12月1日から25日まで

今年も12月1日から25日までの期間、第33回海外たすけあい募金キャンペーンを開催します。

日本赤十字社では、みなさまからのご支援をもとに、これまででも多発する紛争や自然災害の犠牲者への緊急救援、世間の関心が集りにくい途上国等での防災や地域衛生の改善などの課題に取り組んでまいりました。

しかし、世界では、シリア難民やネパール大地震など紛争や自然災害により多くの命が奪われ、困難な生活を強いられている人々が今も数多くいます。

海外たすけあい募金は「紛争で苦しむ人々への支援」「災害で苦しむ人々への支援」、そして「病気から身をまもるための支援」がテーマ。

みなさまの温かいご協力をお願いいたします。



募金方法

ご持参の場合

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK放送局、但馬銀行および農協・漁協の窓口など

お振込みの場合

郵便局・ゆうちょ銀行

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください

街頭募金を行います。

12月 5日（土） JR垂水駅
6日（日） JR芦屋駅
12日（土） JR神戸駅
19日（土） JR三ノ宮駅
23日（水・祝） JR姫路駅

いずれも13時から16時まで

お問い合わせ先 ☎078-241-8921（振興課）

皆さまからお寄せいただいた募金は、3つの支援へ

紛争で苦しむ人々への支援

シリアでは依然として政府と多数武装勢力間での紛争が長く続き、現在多くの人々が国内外に避難しています。シリアなど武力紛争による犠牲者の緊急救援や、紛争長期化による避難民への中長期的な支援を行います。

- 中東支援事業(シリア及び周辺中東諸国)への支援
- アフガニスタン、南スーダン、ソマリアなど紛争による犠牲者支援



災害で苦しむ人々への支援



今年4月、ネパールで大地震が発生しました。死者約8,800人、全半壊家屋約80万戸、この地震で影響を受けた人々は約560万人と報告されています。世界各地で発生する大規模自然災害での緊急救援活動をはじめ、中長期的な復興支援、そして災害に備えるための支援を行います。

- ネパール地域防災への支援
- インドネシア・コミュニティ防災への支援
- アジア太平洋地域給水・衛生災害対応キット整備事業 など

病気から身を守るための支援

ケニア北東部は、たびたび干ばつに見舞われる乾燥地帯で、厳しい自然環境下で遊牧民が暮らしており、子どもたちの多くは保健医療サービスを十分に受けられないため、いのちの危険にさらされています。またウガンダ北部では20年にわたる紛争が続いたことから保健サービスが行き届いておらず、多くの妊産婦が非衛生的な環境下での出産を余儀なくされています。途上国の人々の生命と健康を守るため医療や保健衛生分野での中長期的な支援を行います。

- ケニア地域保健強化事業
- ウガンダ母子保健事業
- アフリカ地域保健医療、感染症対策 など



現在、兵庫県から国際活動に派遣中

高原美貴 看護師
(姫路赤十字病院)



シリア内戦で隣国ヨルダンへ流出した難民の女性と子どもたちを対象に、病気の予防や早期対処の他、こころのケアなど必要に応じ取り組んでいます。派遣期間は、平成27年6月～10カ月の予定です。

津田香都 看護師
(姫路赤十字病院)



平成22年の大地震後コレラが大流行し、現在も終息していないハイチ共和国で、コレラ撲滅のための予防対応チームの育成や発生した場合に対応できる能力の育成などのプロジェクトを指揮しています。派遣期間は平成27年5月～14カ月の予定です。

二星智恵子 看護師
(神戸赤十字病院)



妊産婦や乳児死亡率の高いケニア共和国で、母子保健を取り巻く環境改善のため、地元ボランティアの育成や健康教育、医療施設の修理や医療資機材の整備など、事業の状況確認や課題への対応アドバイスをを行っています。派遣期間は平成27年9月～6カ月の予定です。